



1. こわされる“帝国ホテル”をしのぶ
2. 爆発寸前の臨海工業地帯
3. 夢をたべて生きたい

1. 毎年のこととはいえ、師走の声を聞いて1年のはやさを感じるこのごろである。そして刻まれた歴史の一コマを回顧するのも意義深いものだ。最近、故 F.L. Wright 氏の作として有名な東京の帝国ホテル旧館の改築が話題をなげている。震災や戦災にも耐え、44年を経たこの建物も機能が老化したため取りこわして高層ビルを再建するという経営者の計画に対し、“近代建築運動の偉大な天才の記念碑的名作”を保存すべしという運動がおこり、Wright 未亡人の来日などもあって政治問題化した感がある。また東京での例だが、300年以上にわたり江戸の東京の住民に生活用水を送った玉川上水路が、都心部の浄水場の移転にともなってその一部の区域の効用がなくなったため、その存続をめぐる議論がなされている。

開発を進めるに当っては、必然的に自然はもとより社会、文化にさまざまな形で影響を与える。開発の先端に立つ土木技術者としては、後世に残す文化を築いていく立場にあることから、文化史的、文明的知識をわきまえ、より広い視野から次元の高い創造にあたらねばならないと思う。ときあたかも“明治百年”を迎えようとしている。古きをたずねて先人の遺業をしのび、その認識からさらに新しき文化の創造に進もうではないか。 [S]

2. 社団法人海難防止協会は問題となっている大型タンカー事故防止調査の中間報告をまとめ、混雑する東京湾や瀬戸内海での大型タンカーの危険性について警告を発した(11月28日・朝日新聞)。

狭く交通ラッシュの激しい来島海峡、備讃瀬戸、明石海峡、伊良湖水道、浦賀水道などにおける操船の困難性を指摘(とにかく小回りのきかない代物らしい)、海峡通過時の適正な船の速度、引船のつけ方、海難発生の確率とその場合の原油流出量、流出原油やガスの拡散状況などにつき引続き実験や調査を行なってゆくそうだが、「京浜運河付近で10万tタンカーが事故を起した場合、油の流出による漁業関係損害だけで500億円、火災を起し陸上に延焼した場合は10倍の5000億円」と大まかな想定をしている。

タンカー所有各社は十分に「この現実を認識」し、企業防衛の上から最高の保険額をかけているとのことだが、まことにコワイ話である。LPGセンターの建設をも規正できなかった京浜運河地区などは、完全にスラム化し爆発寸前の状態であり「一歩判断誤まったら大事故が起ることはまぬかれない」とかねがねいわれているだけに、防衛力なき民衆の身にもなって根本的に海上交通を規正する強力な措置を望みたい。 [E]

3. 太古の人々は飛ぶ鳥をみて人間にも翼が欲しいと願い、魚をみて水中を自由に動けることを願った。これらの夢が技術的に満たされたときに生を受けたわれわれは、ボタンを押せば生活の糧が目の前に出てくることを、ドアの前に立てば自動的に開く扉を、そして宇宙空間への人間の生活圏をのぼすことを夢にえがき、それは近代科学の中にすでに実用化、あるいは近い将来の可能性の内に日常の会話の中にしばしば登場する日々となった。子供心にいただいた数々の夢は、おおかた実現し、空想科学マンガで教わった多くのネタも出つくした感のある近日である。今回土木学会誌編集委員会が募集した懸賞論文であっても、将来の土木界を荷負う“若人の若物らしい、健全な将来計画”を聞こうという意味から、“21世紀の土木”について学生の部の募集したわけである。が、結果は大方の予想に反して何と1編しか応募論文がなく、その無気力さに驚いた次第であった。これは一般論としてもいえることであるが、人間の欲望が、未来への希望が今日の人類の発展を支えた一つの柱とみるならば、この種の夢想が、素直に出てこない今日の生活はすでに悲劇であるのかも知れない。高度化され、組織化された今日の技術界の生み出した今世紀最大の発見商品はコココーラだといわれる貧困さは、馬鹿話と聞いても笑うこともできない。このたび合衆国のランド研究所の発表した世紀の予測とビジョンに関連する新技術の実現時期についての調書を見ると、海水の淡水化(1970年)、オートメ翻訳機(1972年)、信頼できる天気予報(1975年)、人工器官の体内植付(1982年)、人工生命の原始的形態の創造(1989年)、海底(沖合を除く)掘出物の経済的な利用(1989年)、知能向上用薬品の可能性(2012年)、50年寿命を延ばすことのできる薬(2023~5年)等とあり、実現不能のものとして長期にわたる仮眠、通信におけるテレパシーの利用等がある。ある意味では夢は着実に育っているのかも知れないが、わが国にあってはまだ一般的ではない。マンガ家にまかせておけない時点にきた今日、選ばれた技術者は率先してこの種の後輩教育に参加すべきではないのかと、近日しみじみ感じているわけである。 [E]